

カモシカ通信



局地的な大雨の影響で、各地で土砂災害が発生しています。遠山川流域では、5月下旬に累加雨量で200mmを超える降雨がありました。自然災害の怖さをあらためて感じているところです。

さて、今回のカモシカ通信は、5月の大雨によって土砂流入の被害を受けた『コスマ沢砂防堰堤工事』の近況と、新たに発注された『ツバタ沢砂防堰堤工事』を紹介します。

下栗の里



令和2年度 天竜川水系コスマ沢砂防堰堤工事

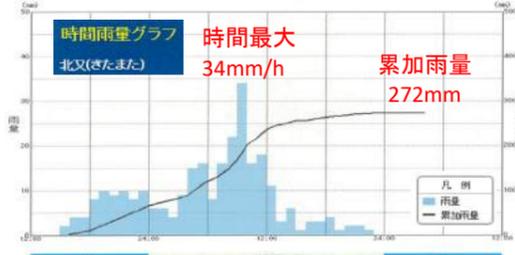


勝間田建設株式会社

現場代理人 小林 義明
監理技術者 浅間 慎也

現場の近況

5月20日から21日にかけて、現場付近の北又雨量観測所では、降り始めからの累加雨量が272mmを観測しました。



5月22日に現場点検へ行ったところ、仮締切が決壊し、土砂と水が床堀箇所に入っているのを確認しました。流入土量は、長さ15.5m、幅13.8m、一番深いところで4.3mあり、推定土量600m³という状況でした。

非常に落胆しましたが、落ち込んでいても仕方ないと、現場関係者一丸となって復旧作業にあたり、約2週間かけて復旧作業を完了しました。

現在は、コンクリート打設作業を進めており、順調に進んでいます。

生コン車が多く通行する事となり、地元関係者の皆様には、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いします。

大雨後の北又沢です。
(令和3年5月22日撮影)



現場被災状況
(工事用道路が流されました)



復旧作業の様子です。



現場被災状況
(仮締切の決壊)



現場被災状況
(水と土砂が大量に流入)



現場近況です。
(令和3年6月末撮影)



令和2年度 天竜川水系ツバタ沢砂防堰堤工事



神稲建設株式会社

現場代理人 小池 雅洋
監理技術者 大場 友和

現場のごあいさつをさせていただきます。

今回、R2ツバタ沢砂防堰堤工事を施工します神稲建設(株)です。本工事ではコンクリートを全工種で3500m³程打設する予定です。本体の垂直壁やコンクリート側壁など主要工種のみでも多くのコンクリートを使用する工事となっています。

また、現場は施工ヤードが狭く限られた範囲の中で行う為、作業がとても大変ですが、限られたスペースを有効に使用し、効率よく作業を進めて工事完成に努めていきたいと思っております。

作業を行うにあたり、工事用車両の出入りが多くなります。近隣住民へご不便ををお掛けしますが、ご協力をお願いします。

着工前



完成イメージ



遠山川砂防出張所の一節

新たなメンバーを紹介します。



この7月から、新たに遠山川砂防出張所のメンバーに加わり、桐生 大雅 (きりゅう たいが) です。

砂防・地すべり工事の実施にあたり監督補助として支援いただきます。みなさま、若き技術者にご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

熱中症にご注意ください。

梅雨が明けて、これから「夏本番」となります。「熱中症」は、必ずしも日中に限らず、朝・夕刻でも発生しているので注意と対策が必要です。

こまめな水分・塩分の補給、休憩場所・休憩時間の確保、体調管理など適切な熱中症予防行動を取って、暑い夏を乗り越えましょう。

*今年度の「カモシカ通信」は、季刊(春号・夏号・秋号・冬号)発行を予定しています。

